

114
A 4402
2



ボウダ氏講速第二回

九年二月十二日

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

義ニ於テ之レヲ詳説セシガ今日ハ尚又經濟學上財貨ノ事ヲ一層
精シク鮮明セシ○然シナガラ所謂財貨トハ各人自己ノ財貨ヲ云フ
ニ非ラス又官庫ノ財貨ヲ云フニモ非ラス唯一國人民ノ財貨ニシテ其實
自由府民ノ總財貨ト思考スベキモノヲ指スヲタルハ固ヨリ疑ヲ容レザ
ルベシ○勿論一國人民又ハ自由府民ノ多人數富裕繁榮ニトレバ各人
自己ニ於テモ自カラ貧困ニナルベキノ理無シ又前段ノ如ク富裕ナル中ハ
官庫ノ都合モ亦自カラ困難等ニ際會スルノ患有ルヲ無シ然シナガラ
政府ハ重稅ヲ課收シテ官庫ヲ饒カニシ人民ノ方ハ其重苛ニ堪ヘスシ
テ甚タ難澁スルノ之レ有リ又一國人民ノ内ニテ或ル等輩ハ大ニ奢侈ヲ
極メ今一個ノ等輩ハ甚タ憫ムベキ困窮ニ處スル等ノ事又往々之レ有
リ是等ノ有様ハ固ヨリ以テ富裕繁榮ノ稱ヲ下シ難シ去レバ一國內甚



夕貧困ナルモノアラシヨリハ寧ろ惣体ノ人民平均適宜ニ豊饒ナル方ヲ以テ善シトスベキナリ○斯様ニ人民惣体ニ富榮ヲ平均スルハ帝普通ノ道理ナルノミナラス凡ソ國內ノ泰平和合ヲ保ツニモ又自カラ肝要ナリトス若シ泰平和合ノ實無キハ人民ノ富裕繁榮ハ永續シ難キモノナリ夫故ニ經濟學ハ此事并其他凡ソ之レニ關係スル件々ハ必ス之ヲ證明シ人ノ無形上(即チ德義上)ニ於ケルヲ并有形上ノコニ論及スベキナリ
前四ノ講義ニ於テ近世諸國ノ學士ハ皆經濟學ヲ分テ四大理斷ト做セリト云フヲ述ヘタリ即チ生財ノ事財貨ノ融通財貨ノ分配并財貨ノ消費是レナリ而シテ此四理斷ニハ各々其細目ヲ含有セリ今先ツ爰ニ之ヲ陳列シ以テ預メ講述ニ於ケル進路ノ案内ト為サシ

第一 生財ノ事 三財ノ事ニハ

- 第一 土地并土地ノ内ニ通例含有セル財貨ニ於ケル造化ノ衝力
- 第二 人ノ力役

第三 資本
第二 ○融通ノ事 二融通ノ事ニハ

- 第一 内外ノ商賣又ハ交換
- 第二 貨幣即チ交換上ニ於ケルト并賣買ニ付スル商賣品トノ一代用ニシテドロックトテ直チニ物ト物トヲ交換スルノ代リニ用ユルモノ
- 第三 信任即チ種々ノ体裁アリテ貨幣ノ代用ニ充ツルモノ

此三者ノ要旨ハ更ニ詳明ヲ要スベシ○夫レ内外ノ商賣又ハ交換ト云フハ自カラ自由商法ノ利益アルヲ并海關稅則ヤ收稅法ノ所謂保護稅法ニ屬スルモノヲ設ケ或ハ政府ニテ專賣ノ特權ヲ占メ或ハ之ヲ人民ニ許可スル等凡ソ物産ノ融通上ニ起ル所ノ弊害ヲ説明セザルヲ得ス且又賣手ト買手トノ間ニ於テ相互ニ自由ノ競争ヲ爲スヲモ其時ニ至リテ之レガ利弊如何ヲ見ルベシ○貨幣ノ事ハ甚タ緊要ナル疑問ニシテ且ツ

甚ク紛紜ナル論説ニ説キ及バント又是レ即チ本位ヲ二種ニ定ムルコトニシテ之ヲ精シク言ハバ價位甚ク異ナル貨幣二種ヲ用ユルノコトナリ是レ或ル國ニ於テ同一ノ名稱ヲ以テ同時ニ通用セシメント謀リシコト既ニ之レ有リ
○若夫^ク信任^クノコト亦同シク其問題ヲ要シ且ツ頗ル困難ナルアリ予ハ將甘ニ公私ノ信任ニ於ケル最良ノ体裁ヲ講明シ繼テ所持人ニ拂フベキ銀行切手ヲ創起スル所以并政府ヨリ發行セル紙幣ニ於ケル利害ヲ講究セン
トス

第三 分配ノ事ニハ分配ノ事ニハ

第一 地主ノ身親カラ土地ヲ耕作セシテ獲ル所ノ利得之ヲ精シク言ヘバ其土地ヲ雇作ニ付スルカ又ハ建物ヲ賃貸ニ供シテ之ヲ地主ニ收入スルモノ○此事ニ付テハ原來土地ニ肥瘠ノ遠近ハアレ且詰リ造化ノ働カ若シクハ土地ヨリ物ヲ生スルノ力ニ向テハ別段ニ其價ヲ拂フニ及バズテ只土地ナル資本ヲ雇作人ニ

貸與シテ所用セシムルニ付キ其賃賃ヲ收入スル所以ノコトヲ確定説明セン

第二

力役ニ従事スルモノハ與フベキ利得○此利得ハウエーヂ^{即チ}給料^{ノ義}ト稱シ通例貨幣ニテ之ヲ拂ヒ又時トシテハ其土地ノ産出品ヲ以テ拂ヒ渡スコトアリ而メ此事ニ付テハ近時多少ノ議論ヲ起セリ○此ウエーヂ^{即チ}ノ事ニ付テ請負人^{即チ}ト力役者^{即チ}トノ間ニ争鬭ヲ起スコト數々アリシガ是レ概シテ双方ニ無理アリ且ツ双方共ニ真ノ利益ヲ知ラザルニ出ツルコト往々之レ有リ予追テ此事ニ付テノ真理ヲ確定説明セントス

第三

資本ニ於テ須カラク收入スベキ利得是レ頗ル肝要ノコトニテ又同シク困難ノ議論アリ○所謂資本ナルモノ若シ貨幣ニ非スシテ譬ヘバ器具。器械。土地。舟車等ヨリ成立ツモノナレバ其利得ハ即チ是等貸與ノ代價ニシテ之ヲレント^{即チ}借料^{ノ義}ト稱

尤モ貸與ノ資本若シ貨幣ナレバ所謂利息ナル問題ノ部
 ニ入ルナリ○金銀貸主ノ高利ヲ貪ラザル様借主ヲ保護スル為
 メニ法律ヲ以テ利息ノ割合ヲ一定制限スルノ一果シテ必要
 ナリヤ又金銀ハ一種ノ高賣品若シクハ一個ノ貸與スベキ器具
 ト看做シ然ルベキヤト云フニツノ問題アリ而シテ此第二項ノ理
 斷ハ當今諸國一般ニ通行シ予又將サニ此理斷ノ正シキヲ
 説明セントス然レモ其諸國ニ行ハル前斷方法ノ實際上ニ於
 テハ多少ノ不都合アルヲ免レザルアリ是又同時ニ指斥スベシ
 而メ之レガ為メニハ更ニ法律ノ適用如何ニ論及セザルヲ得ス○
 爰ニ資本ニ於ケル利得ノ一種類アリ又吾人ノ注意スベキトニ
 シテ即チコンモンジツト又ハ資本并力役ノ組合是レナリ
 請負人ノ利得是レハ前同様ノ擴張敷衍ヲ要セザルベシ何者
 此利得ハ唯其產出物ノ過剩若シクハ其物ヲ產出スルニ付

第四

テノ費用ヲ引キ去リノ餘分ヨリ外ニハ何モ非ラザレバナリ
 ○假令ヒ請負人ハ土地ノ所有者ニテ身親カラ之ヲ耕スモノ
 ニセヨ若シクハ他人ノ土地ヲ借りテ耕ス雇作人ニセヨ又工業
 上ノ仕事ニ服役スル製作職人ニセヨ若シクハ或ル商業經營
 ハ商人ニセヨ其人ノ利得ハ曾テ極定セザルモノナリ然レモ予將
 サニ是等諸人ニ夫レノ差圖ヲ授ケ且ツ一方ノ損失ナル所以
 ノヲヲ説明シ以テ聊カ其比例ヲ示サントス

第四 消費ノ事ニ付テハ既ニ前回ニモ論述シタル通り必要ノ消費ト
 選擇ニ任カスベキ消費并田産復生ノ消費(譬ハ耕作製造等ニ元
 品ヲ用フルノ類)ト利得ヲ生セザル消費(譬ハ奢侈ノ用ニ充ツルノ類)トノ事
 ニ論及セン○消費ノ事ヲ説クニ臨ミテ更ニ所謂節儉即チ其新タニ資本
 ヲ構成スルノ功用并各人銘々ヲシテ節儉ニ奨励セシムル所以ノ方法ヲ指
 示セン○租税ノ事是又消費ノ事ニリシテ講究スベキ所ナリ元來租税ノ

消費必要ナルモノアリ又奢侈ニ属スルモノアリ

第五 爰ニ又人口ノ理断アリ而ノ或ル經濟家ハ此理断ヲ以テ第五理断トセリ○夫レ人口ノ事ハ緊要ノコトナレバ更ニ別種ノ講究ニ從事シテ可ナリ○人口ノ問題ハ大抵前ノ四大理断ニ關係アルモノナリ即チ

一人ノ多寡ニ從テ生財ノ盛衰アルガ故ニ生財ノ事ニ關係アルナリ

一人ノ需用多クナレバ隨テ交換ノ方モ盛シニナルガ故ニ融通ノ事ニ關係

アルナリ

一 賃銀給料ハ力役者ノ勤務セル多寡ニ從テ高低ヲ生スルガ故ニ分

派ノ事ニ關係アルナリ

一人口ノ増殖スルキハ産出スル物品ヨリモ之ヲ消費スルノ高却テ過多

ナルコトアリ是レ甚タ恐ルヘキコトナリ故ニ殊トシテ消費ノ事ニ關係アルナリ

此人口ノ理断ハ第五理断トナシテ説クニモセヨ又第四消費ノ理断中ニ加

ヘテ説明スルニモセヨ兎角是レハ至極緊要ナル事件ニハ相違無カル

ベシ

